



# 森小学校だより

第10号 平成24年2月1日 発行

## “後悔のない2ヶ月に”

今年の寒さは、例年とは比較にならないほど厳しいものがあります。それに加え、乾燥しきった空気によってインフルエンザが大流行しています。2月4日は立春ですが、本当の春はまだ先になりそうです。

毎年この時期になると考えるのは、「後悔のない終わり」です。子どもにとっても教師にとっても23年度をどのように終えるのか、そのためにはこの2月が大切です。後で「しまった」という思いは誰もが経験していることではありますが、この克服となると誰しもというわけにはいきません。子どもならなおさらです。周囲からの指導や支援が必要となります。子どもにどんな終わり方をさせるのか、そのためにどのように指導していくのか、そこに知恵を出し合い、2月を過ごしていきたいと思っています。



## “優しさとは、常に相手に心を向けること”

1月号で優しい言葉づかい、親しみのある言葉づかいをしようということを書きました。ここで優しさについてもう少し深く考えてみたいと思います。優しさとはひと口で言っても、そこにはいくつもの表現があります。例えば、励ましの言葉をかける、明るい表情で接する、相手の話に耳を傾ける、柔らかくにほほ笑むなど。これは、直接的に相手に働きかける優しさであると言えるでしょう。

一方で、見守る・幸せを祈るという優しさもあります。これは間接的で、伝わりにくいかもしれませんが、言葉や態度といった直接的な優しさに、相手の心に寄り添いながら、粘り強く見守り、幸せを祈るという優しさが加味されることによって、その優しさは、より深いものになるのではないのでしょうか。

優しさとは、常に相手に心を向けることにあります。いくつもの温かい心や言葉が重なり合って、一つの大きな優しさが形づくられ、相手を大きく包み込んでいくと言えるでしょう。

今よりもほんの少しだけ、人に優しく接してみませんか。その優しさが自分の人生を明るく輝かせ、さらには周囲の人たちの心を温かくしてくれるはずですよ。ぜひ、そんな優しさを子どもたちに向けていただくと共に、子どもたちに話してあげてください。

校長 榊原 茂

## インフルエンザ

### の流行に注意



今年は、インフルエンザ患者が急激なスピードで増えています。本校も先週から少しずつ出てきましたが、毎日3～4人で推移し、急増ではありません。しかし、近隣の飯田小学校では、20%近くまで増えて学年閉鎖にもなりました。本校がそうならないためにも、学校では、うがい、手洗い、換気を心掛けると共に、マスクをつけて生活するよう呼びかけています。御家庭でも、ぜひ御協力をお願いいたします。